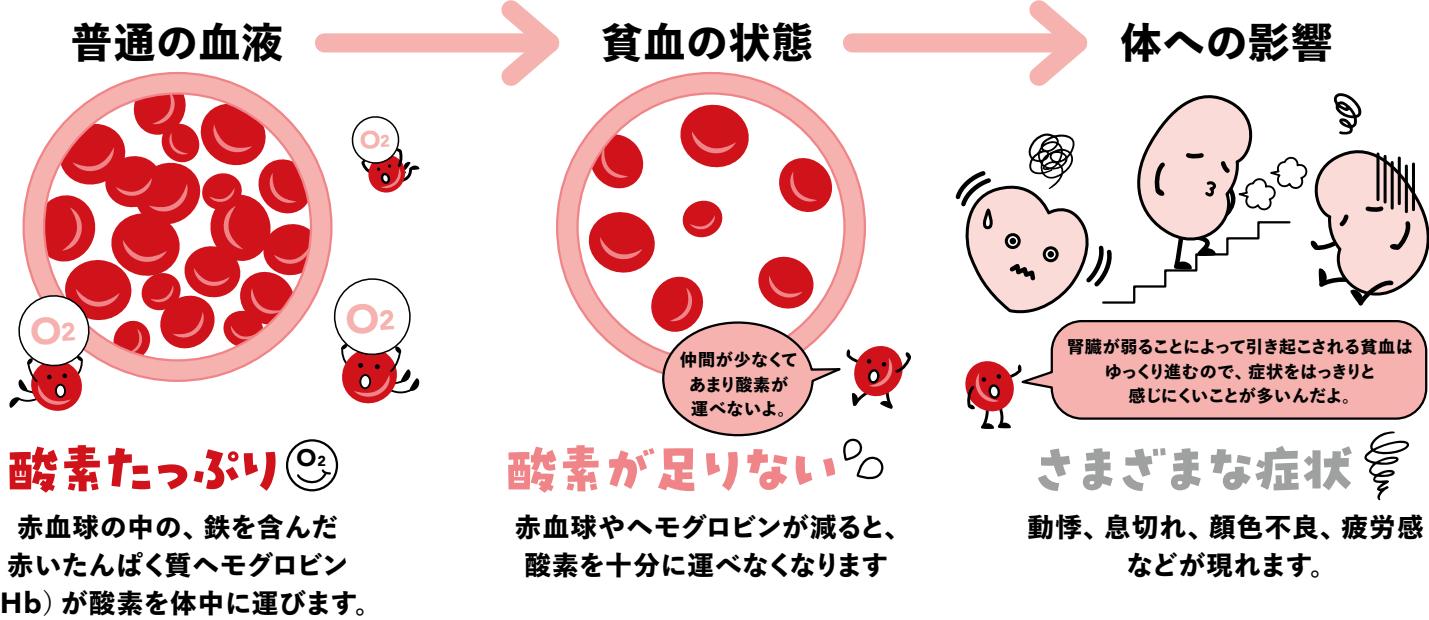
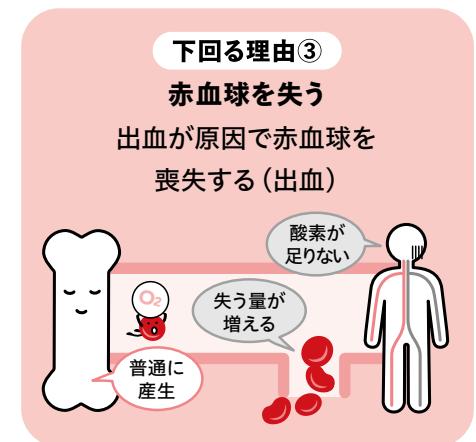
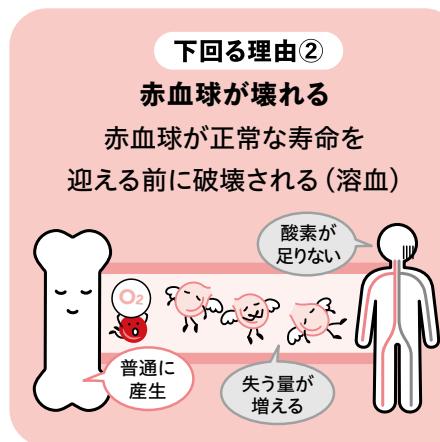
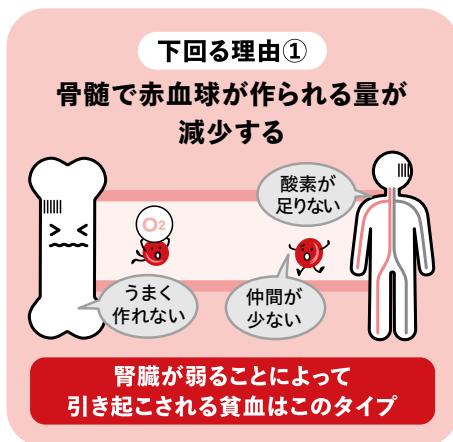


貧血のしくみ

貧血とは、血液の“酸素を運ぶ力”が足りなくなることです。



貧血は、赤血球が作られる量が、失う量を下回ってしまうことで起こります。

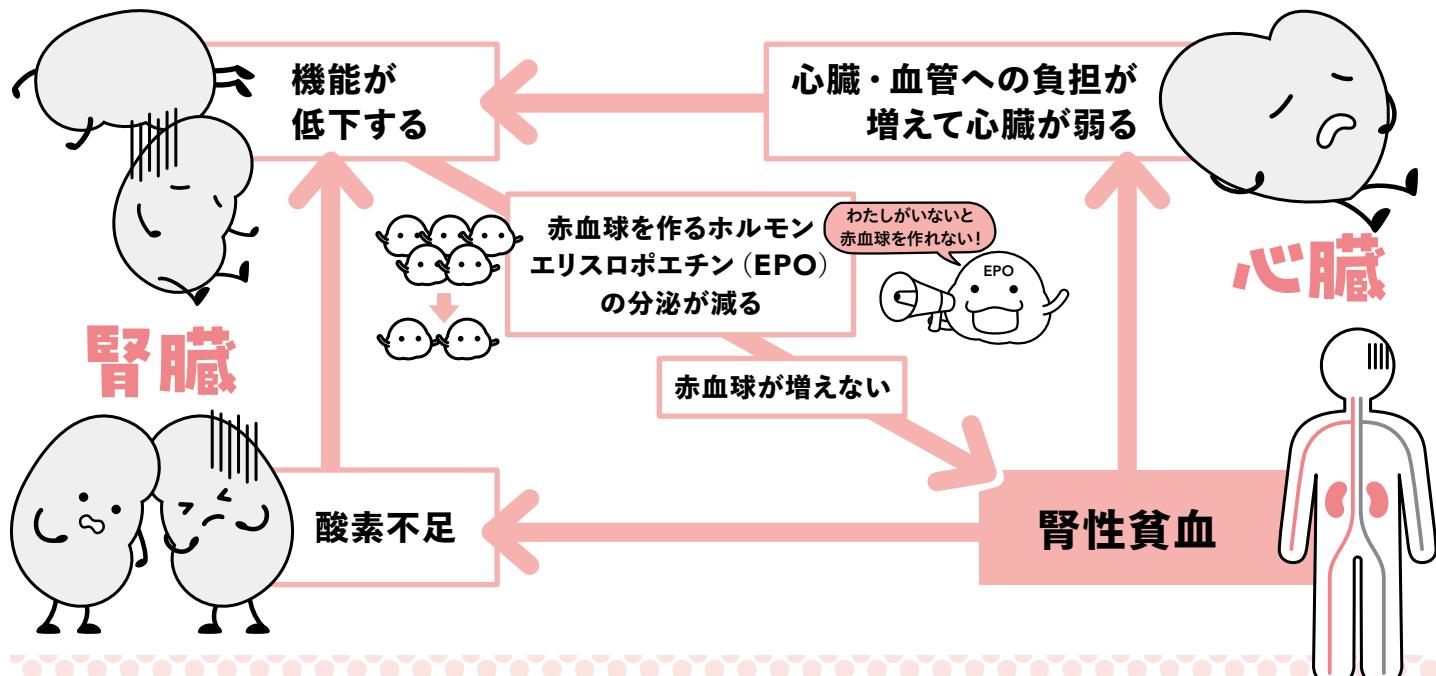


監修 長澤 将 東北大学病院 腎高血圧内分泌科 講師
大武 陽一 たけお内科クリニック からだと心の診療所 院長

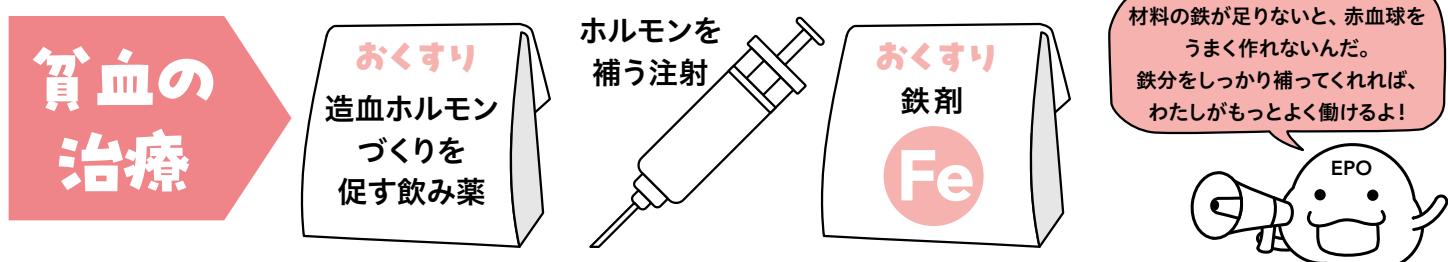
CKDが引き起こす貧血

慢性腎臓病

慢性腎臓病(CKD)が原因の貧血になると、腎臓がさらに弱ったり、心臓・血管への負担が増え、心不全などのリスクを高めます。



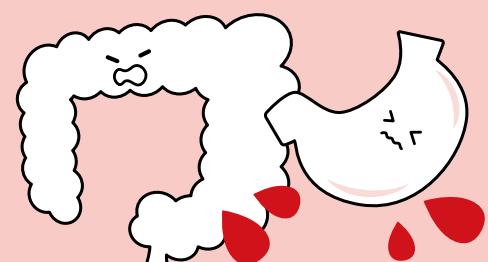
貧血の治療は、QOL(生活の質)を改善すると言われています。



腎性貧血以外の貧血の可能性もあります

慢性腎臓病(CKD)にともなう貧血は腎性貧血である可能性が高いものの、鉄分の不足や胃や腸などからの出血など、他の原因で貧血を引き起こしていることもあります。

原因が何であれ、貧血の症状そのものが負担ですし、心筋梗塞、心不全、脳卒中などのリスクも高め、CKDそのものも悪化させます。



監修

長澤 将 東北大学病院 腎高血圧内分泌科 講師
大武 陽一 たけお内科クリニック からだと心の診療所 院長